4

書く

目的や意図に応じて書く（意見文）

〔確認〕

名前

やってみよう

◆Aさんは、「物の豊かさ」と「心の豊かさ」について、新聞に投稿しようと考えています。次の指示にしたがって、新聞投稿記事を書いてみましょう。

指示① Aさんになりきって書きなさい。

指示② 新聞投稿記事は四百字程度です。下のけい線に収まる程度に書きなさい。

指示③ 次のメモはAさんの意見文の構想メモです。必要だと思う情報を使って書きなさい。（必ずしも全部使う必要はありません。）

▽意見（主張）

「「心の豊かさ」を大切にして、少しだけ「物の豊かさ」をがまんすれば、環境問題の解決の糸口になるのではないだろうか。」

▽根拠

・江戸時代の人々の暮らし

・「江戸からのメッセージ―今に生かしたい江戸の知恵」杉浦日向子（『国語1』光村図書）

・リサイクルするのは当たり前という生活習慣

・自分さえよければいいという心の貧しさが環境問題を引き起こす。

・京都議定書

▽構成＝双括式で主張を強調

・書き出しと結びを対応させる。

・反論（「時間の節約で余暇が利用でき、心の余裕ができたり、娯楽文化を楽しめたりするのは心の豊かさになるのではないか。これを手放すのは難しい。」）に対する意見。